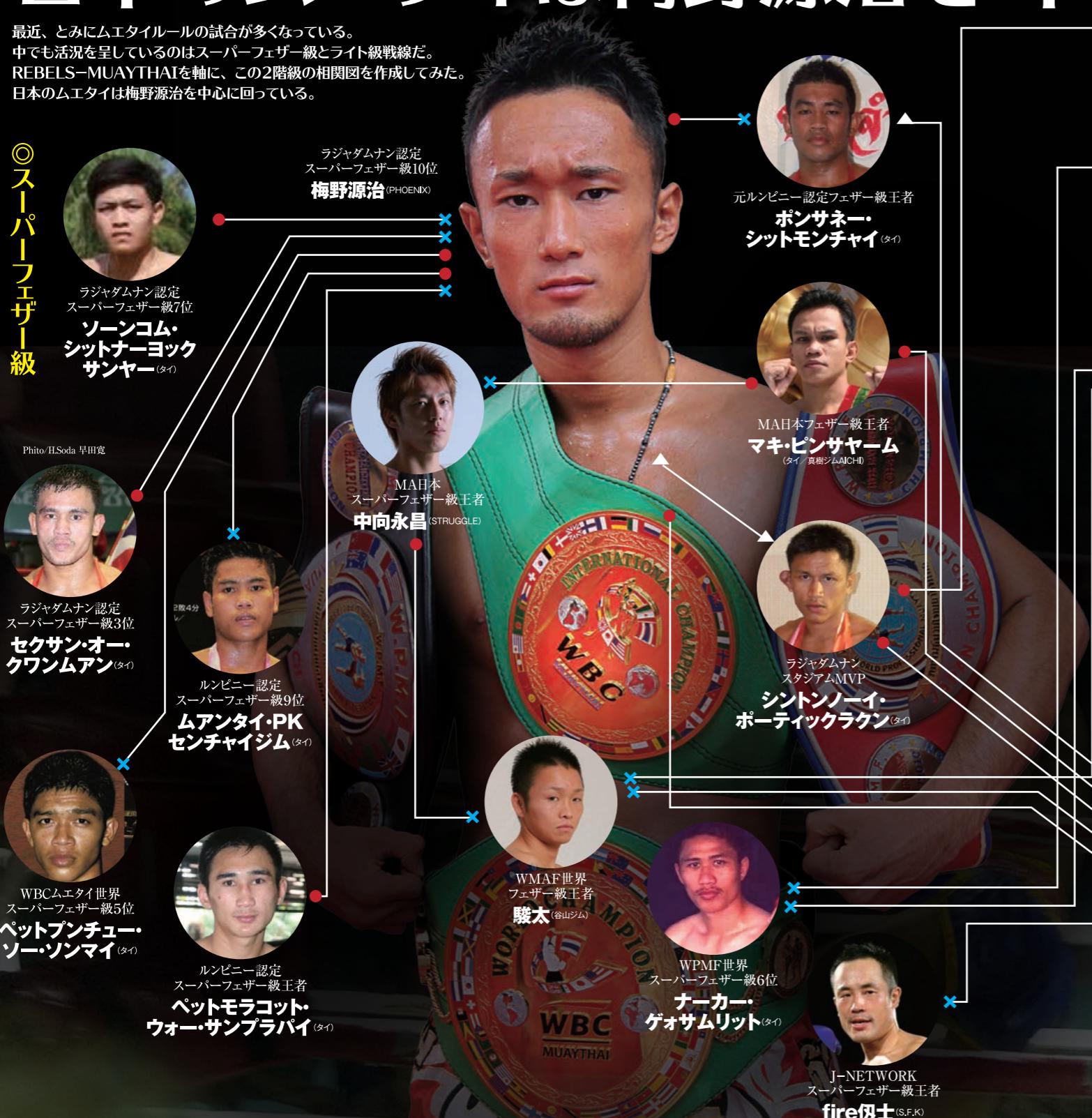


# REBELS-MUAYTHAIスーパーフェザー級&ライト級相関図

# 日本のムエタイは梅野源治を中心回っている

最近、とみにムエタイルールの試合が多くなっている。中でも活況を呈しているのはスーパーフェザー級とライト級戦線だ。REBELS-MUAYTHAIを軸に、この2階級の相関図を作成してみた。日本のムエタイは梅野源治を中心に回っている。

## ◎スーパーフェザー級



う抜擢は歴史的快挙といつていい。

残念ながら勝負の方はセクサンの守りに徹した作戦の前に持ち味を殺されて判定負けを喫してしまったが、勝った負けたを繰り返すのがムエタイのトップの世界。再びタイの第一線で闘うためには今夜の大一番を落とすわけにはいくまい。

毎年数えきれないほどの日本人キックボクサーがタイのリングに上がるが、メジャースタジアムの呼ばれるルンピニーとラジャで好カードが組まれる平日興行、しかもメインイベントい

だ。今年になってからは階級を上げ、現在はスーパーフェザー級7位にランクインしている。どちらかといえばパンチが得意なファイターだけに、梅野とは激闘必至のメインイベントとなるだろう。梅野の視線はタイに向いているが、そんな日本の至宝との一騎討ちを熱望する日本人キック

ボクサーもいる。”居合バンチャー”町田光もそのひとりだ。9月20日には岡山でナーカー・ゲオサムリットをTKOで破してWPMF世界スーパーフェザー級王座を奪取した。7月にはREBELSで”RISEからの刺客”郷州力を撃破しているだけに絶好調といつていいだろう。ファンが望む夢の対決もある。梅野VSヤスユ

キだ。相関図を見れば一目瞭然で、ムエタイルールでヤスユキは過去に周囲の日本人選手から連戦連勝を収めている。7月には”爆腕”大月晴明との一戦を制して、改めてその実力をを見せつけた。ヤスユキは「梅野選手とは向かっている方向が違う」と無関心を装うが、ファンが見たがっていることは確か。果たしてVS梅野は実現するの



## ◎ライト級

**REBELS**  
Hasta La Victoria Siempre

だろうか。この流れにSHIGERU、森井洋介、翔センチャイジムらがどう呼応するのか。来月復帰戦を行なう駿太、INNOVATIONの次世代のエース龍誠らの動向も見逃せない。ライト級戦線を目を移すと、マッチメーカーは日本人中心で、繰り返し闘っている者同士も多いドラマは生まれやすい。年末年始にも行なわれるREBELS-MUAYTHAIとWPMF JAPAN統一トーナメント決勝がひとつのクライマックスとなるか。